第６５回電磁界理論研究専門委員会プログラム

日時：平成１８年５月２７日（土）１５：１５～１７：００
場所：日本大学理工学部(駿河台校舎)１号館２階１２２会議室

配布資料

資料 No. 65-1　第 64 回電磁界理論研究専門委員会議事録
資料 No. 65-2　平成 18 年度電磁界理論研究専門委員会構成
資料 No. 65-3　平成 17 年度活動資金会計報告
資料 No. 65-4　2006 年度電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号について
資料 No. 65-5　KJJC2006-AP/EMCJ/EMT（日韓合同研究会）について
資料 No. 65-6　「光・電波ワークショップ」について
資料 No. 65-7　第 35 回電磁界理論シンポジウム開催計画
資料 No. 65-8　2006 年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウム

議題

１．前回議事録承認（資料 No.65-1）
２．平成 18 年度電磁界理論研究専門委員会構成（資料 No.65-2）
３．平成 17 年度活動資金会計報告について（資料 No.65-3）
４．2006 年度電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号について（資料 No.65-4）
５．KJJC2006-AP/EMCJ/EMT（日韓合同研究会）について（資料 No.65-5）
６．「光・電波ワークショップ」について（資料 No.65-6）
７．第 35 回電磁界理論シンポジウム開催計画について（資料 No.65-7）
８．2006 年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムについて（資料 No.65-8）
９．2007 年 URSI EMT-S について

資料 No. 65-1

第６４回 電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会・
平成１７年度 第３回 電気学会 電磁界理論技術委員会
合同委員会 議事録

日時：平成１８年３月２４日（金）１６：３０～１８：００
場所：国士舘大学（世田谷キャンパス）8 号館４階８４０５教室
出席者：
山崎 委員長（日本大）†、佐藤(亨) 委員長（京都大）‡、
田中 元委員長（岐阜大）†、安藤(真) 副委員長（東工大）†、
木下 委員（慶応大）†、下代 委員（阪府立大）†‡、小見山 委員（阪電通大）†、
後藤 委員（豊橋技科大）†‡、陳 委員（東北大）、辻 委員（同志社大）†、
平田 委員（名工大）†‡、平野 委員（東工大）‡、廣瀬 委員（東京大）†、
堀 委員（福井大）†、横田 委員（宮崎大）†、李 委員（NiCT）†、
藤崎 幹事（九州大）‡†、安藤(芳)幹事（電通大）‡†、
石原 幹事（防衛大）†‡、西本 幹事（熊本大）†‡、稲沢 幹事補佐（三菱電機）†、
オブザーバー参加：２名

†：電子情報通信学会，‡：電気学会

配付資料：
電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
No.64-1 第６３回電磁界理論研究専門委員会議事録
No.64-2 電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号（2007 年 2 月）論文募集案内
No.64-3 KJJC2006（日韓合同研究会）について
No.64-4 第 35 回電磁界理論シンポジウム開催計画(案)
No.64-5 2006 年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムの課題(案)
No.64-6 PIERS2006-Tokyo について
No.64-7 平成１８年度電磁界理論研究専門委員会運営体制（案）および
電磁界理論研究専門委員会　委員推薦（案）について
No.64-8 協賛申請書（エレクトロニクスソサイエティ）
No.64-9 国際会議 ICCE2006 の CALL FOR PAPERS
No.64-10 ホームページのデザイン外注について

電気学会 電磁界理論技術委員会
No.17-ETC3-1 平成 17 年度 第 2 回電磁界理論技術委員会議事録
No.17-ETC3-2 第 67 回電気学会 Ａ部門研究調査運営委員会議事録
No.17-ETC3-3-1 自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会　議事録
No.17-ETC3-4 平成 17 年度研究会活動補助金会計報告、及び平成 17 年度活動資金一覧

電磁界理論研究専門委員会関連議事**:**
１．前回議事録承認
- 議事録（資料 No. 64-1）を確認し、承認された。

２．2006 年度電子情報通信学会英文論文誌 C 特集号について（資料 No.64-2）
- 西本幹事より資料 No. 64-2 にもとづき、英文論文誌 C 特集号について報告があった。
- 本特集号では電磁界理論シンポジウムおよび関連の国際会議に投稿された論文以外からも広く受け付けている。

３．KJJC2006（日韓合同研究会）について

- 山崎委員長より資料No.64-3にもとづき、次回のKJJC（日韓合同研究会）について報告があった。
- 日本側はAP,EMCJ,EMTの３研究会が参加し、今回はEMTが幹事を担当。各研究会から10件程度の論文を見込んでいる。
- 電子情報通信学会ソサィエティ大会が金沢大学で9月19日（火）から22日（金）まで開催される。これに続いて金沢市内のウェルシティ金沢で9月23日（土）、24（日）に開催する。
- 100人規模の会議を想定しており、シリアル、パラレルどちらでも開催できるように会議室を予約している。

４．第35回電磁界理論シンポジウム開催計画について

- 山崎委員長より資料No.64-4にもとづき、第35回電磁界理論シンポジウムの開催計画について報告があった。
- 島根県玉造温泉の松の湯で10月26日(木)～28日(土)を予定している。
- 宿泊費は４名以上の部屋で一人あたり¥10,650／泊。会議室利用料は３日間で¥93,450とのこと。
- 電磁界理論シンポジウムの直後にISAP2006(シンガポール)が11月1日(水)～4日(土)、EuCAP 2006（フランス）が11月6日(月)～10日(金)に開催される。他にISAPE（中国）が日程的に重なっているが、特に勘案する必要はない。

５．2006年電子情報通信学会ソサイエティ大会シンポジウムの課題について

- 山崎委員長より資料No.64-5にもとづき、電子情報通信学会ソサイエティ大会のシンポジウムの課題について報告があった。
- 今回のテーマは”大規模電磁界解析への挑戦と事例紹介”として提案している。

６．平成１８年度電磁界理論研究専門委員会運営体制（案）および
電磁界理論研究専門委員会　委員推薦（案）について

- 山崎委員長より資料No.64-7にもとづき、平成１８年度の電磁界理論研究専門委員会の運営体制について報告があった。
- 来期は山崎委員長、西本幹事が続投。石原幹事が副委員長、小見山委員が幹事、大貫先生（日大）が幹事補佐に就任する。稲沢幹事補佐は専門委員へ、辻委員から出口先生（同志社大）に研究専門委員の引継ぎが提案され、承認された。
- 委員の任期は２期６年で、専門委員会の人数制限枠はない。
- 大学以外でも興味を持って頂ける方を専門委員に迎え入れると活性化する。

８．エレクトロニクスソサイエティ協賛（国際会議ICCE2006)について

- 田中元委員長より資料No.64-8,No.64-9に基づき、国際会議ICCE2006（ベトナム）のエレクトロニクスソサイエティ協賛について報告があった。
- ハノイ工科大学の創立50周年にあたり、１０月１２日～１４日に国際会議が開催される。WEBはまだできていない。
- 昨年の研究専門委員会で国際会議の協賛をする場合には５人程度の賛同者を添えると決めている。
- 各国の実力者を５人程度見つけることは非常に重要である。
- 電子情報通信学会からは主催、共催以外では補助金を出すことはできない。

９．PIERS2006-Tokyoについて（資料No.64-6）

- 山崎委員長より資料No.64-6にもとづき、PIERS2006-Tokyoについて報告があった。
- 中央大学後楽園キャンパスで８月２日（水）～８月５日（土）に開催される。
- 投稿数は全部で５１１件。内訳はオーガナイザーのセッションが４３４件、CFPのセッション

は７７件であった。

１０．ホームページのデザイン外注について

- 稲沢幹事補佐より資料 No. 64-10 にもとづき、ホームページのデザイン外注について報告があった。
- エレクトロニクスソサイエティからHP維持管理費として￥１６９,０００が認許されており、同額でデザイン会社に発注した。
- メンテナンス性を重視してデザイン外注を実施した。

１１．2007 年 1 月共催研究会の日程について

- 西本幹事より 2007 年１月に開催される光関係の合同研究会の日程について、1 月２９日(月)、３０日（火）が提案され、承認された。
- 委員各位には協力が要請された。
- 電気学会の優秀論文発表賞は電磁界理論に関する論文のみを対象とする。幹事は申し込み時に電磁界理論へ投稿したことを把握している。

１３．2010 年の URSI EMT-S 招致活動の結果について

- 安藤(真)副委員長より資料 No. 63-9 にもとづき、2010 年の URSI EMT-S 招致活動の結果について報告があった。
- ２０１０年はドイツのベルリンに決定した。
- 日本は一次投票で敗れたが、今回は投票を呼びかけていなかったため、投票権をもつ４５カ国のうち、投票は僅か１０票であったことが悔やまれる。
- 次の２０１３年以降も招致活動を継続していく。招致活動の体制について考える必要がある。

１４．その他

- 次回の合同委員会は日大で５／２７（土）１５：００に開催する。委員会終了後に１７：００頃から懇親会を予定している。
- 電磁界理論シンポジウムの宿泊費は、ビジネスホテルなどと比較すると圧倒的に高く、若手には負担が大きい。
- 若手中心の研究会を年に１回開催してもよいのではないか。ＥＭＣＪでは毎年７月に第１種研究会の枠組みで若手発表会を実施し、優秀な論文を表彰している。

電磁界理論技術委員会関連議事**:**

1. 前回議事録承認

   佐藤委員長より、資料 No.17-ETC3-1 に基づき前回議事録の確認があった。前任の編修委員である服部先生（千葉大）の後任として、後藤先生（防衛大学校）が就任したことが報告された。

2. 第 67 回電気学会 A 部門研究調査運営委員会報告

   安藤幹事より、資料 No.17-ETC3-2 に基づき第 67 回電気学会 A 部門研究調査運営委員会の報告があった。主な報告事項として、編修制度の変更について報告があった。また、佐藤委員長より、優秀論文発表賞として井田輝彦氏（防衛大)、平松義範氏（中央大）の両名を推薦し、受賞が決定したことが報告された。

3. 調査専門委員会報告

   安藤幹事より、資料 No.17-ETC3-3-1 に基づき、自然災害の予測と監視のための電磁界技術調査専門委員会の簡単な報告が行われた。

4. 会計報告

   佐藤委員長より、資料 No.17-ETC3-4 に基づき平成 17 年度の研究会活動補助金及び平成 17 年度の活動資金申請状況に関して報告が行われた。山崎委員長より、前回のＥＭＴシンポでの特別講演の講演者が会員であったため、謝礼の代わりに宿泊補助として支払ったことが報告された。

以上

資料 No. 65-4

2006年度電子情報通信学会英文論文誌C特集号について

■ 特集号名

「電磁界理論の進展とその応用」小特集号

“Special Section on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application”

■ 発行予定

平成19年2月号の発行

■ 編集委員会

委員長・副委員長／ゲストエディタ：山崎恒樹（日大），安藤真（東工大）

幹　　事：石原豊彦（防衛大），西本昌彦（熊本大）

編集委員：安藤 芳晃（電通大），稲沢 良夫（三菱電機），後藤 信夫（豊橋技科大），
佐藤　亨（京大），白井　宏（中大），田中 雅宏（岐阜大），陳　強（東北大），
辻　幹男（同志社大），廣瀬　明（東大），藤崎　清孝（九大），堀　俊和（福井大），
横田 光広（宮崎大），李　可人（NICT）

■ 小特集の海外配布

本小特集号は，該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定

■ 投稿論文数

Paper 22編，　Letter 1編，　合計 23編

※ 純粋に海外（イタリア）からの論文２件を含む.

資料 No. 65-5

KJJC2006-AP/EMCJ/EMT（日韓合同研究会）について

2006年KJJC-AP/EMCJ/EMT'06会告通知

◇ ◇ 電子情報通信学会 第二種研究会 発表論文募集のお知らせ ◇ ◇

****

2006年アンテナ・伝搬，環境電磁工学，電磁界理論に関する日韓合同会議

2006 Korea-Japan AP/EMCJ/EMT Joint Conference (KJJC-AP/EMCJ/EMT'06)

September 23-24, 2006, ウェルシティ金沢

****

電子情報通信学会の通信ソサイエティアンテナ・伝播研究専門委員会，環境電磁工学研究専門委員会とエレクトロニクスソサイエティ電磁界理論研究専門委員会は，韓国の大韓電子工学会マイクロ波・アンテナ・伝搬ソサイエティ（Society of Microwaves, Antennas, and Propagation, Institute of Electronics Engineers of Korea），韓国電磁波学会（The Korea Electromagnetic Engineering Society）と共催で，標記の通り「2006年アンテナ・伝搬，環境電磁工学，電磁界理論に関する日韓合同会議(2006 Korea-Japan AP/EMCJ/EMT Joint Conference; KJJC-AP/EMCJ/EMT'06)」を第二種研究会として2006年9月に金沢市で開催します．

この研究会は，アンテナ・伝搬，環境電磁工学，電磁界理論の全般にわたる最新の研究成果を発表し，日韓の研究者が活発に討論する場を提供することを目的として開催するものです．

前回は、2004年 11月22日，23日に、KJJC-AP/EMCJ/EMT'04を韓国のソウルで開催し、成功を収めております.今回も多数の方々からの積極的な論文投稿を期待しております．

期 日	2006年9月23日（土）、24日（日）
会 場	ウェルシティ金沢（金沢市石引4-17-1）
テーマ	アンテナ・伝搬，環境電磁工学，電磁界理論に関するものであれば，特に制限はありません．
論文投稿締切り	2006年7月22日（土）
使用言語	講演，討論，論文原稿は英語です．

【論文原稿執筆方法】

原稿には11ポイント（1インチ当り11文字）の文字を使用するものとし，本文，参考文献，図面，写真を含め，1論文の長さはA4サイズの用紙で4ページ以内とします．第1ページには，用紙の上から1インチ（2.5 cm）の位置にタイトル（大文字を使用）を，その2行下に著者名・所属を，すべて用紙の左右の中央にタイプして下さい．本文は，著者名・所属の3行下からシングルスペースでタイプして下さい．各ページの上下左右には1インチのマージンを設けて下さい．講演論文集は，著者から提出された原稿に基づいて原寸大で印刷されます．詳しくは電磁界理論研究会ホームページのKJJC'06開催案内案内をご覧ください．

【論文原稿例】

Microsoft Wordによる書式例　　PDFによる書式例

【論文原稿・コピーライト送付および問い合わせ先】

論文内容がアンテナ・伝搬，環境電磁工学，電磁界理論のいずれに該当するかを判断したうえで，原稿のオリジナル1部とコピーライトを下記宛ご送付下さい．論文内容によって原稿送付先が異なりますので，ご注意下さい．

・アンテナ・伝搬関係(AP)

榊原 久二男
名古屋工業大学 ながれ領域
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL&FAX: 052-735-5416
E-mail: sakaki@nitech.ac.jp

・環境電磁工学関係(EMCJ)

庄山 正仁
九州大学大学院システム情報科学府電気電子システム工学専攻
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
TEL: 092-642-3902 FAX: 092-642-3957
E-mail: shoyama@ees.kyushu-u.ac.jp

・電磁界理論関係（EMT）

石原　豊彦
防衛大学校通信工学科
〒239-8686　神奈川県横須賀市走水1-10-20
TEL:0468-41-3811(ex. 3367), FAX:0468-44-5903
E-mail: ishihara@cc.nda.ac.jp

【受け付けスケジュール等】

受付論文原稿については査読を行います.

採録決定通知の発送		2006年8月12日(土)	
参加登録申込書の発送		2006年8月12日(土)	
参加登録締切(聴講のみの方も，必ず事前登録をお願いいたします)		2006年8月26日(土)	
参加費 (当日，会場でお支払い願います．講演論文集1部の代金等が含まれます)		一般：16,000円(or 133,000 Won) 学生：6,000円(or 50,000 Won)	
アドバンスプログラム		PDFスタイル	
コピーライト委譲、参加登録(それぞれダウンロード)	コピーライト委譲	Wordスタイル	PDFスタイル
	参加登録	Wordスタイル	PDFスタイル
参加申込先		石原　豊彦 防衛大学校通信工学科 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20 TEL:0468-41-3811(ex. 3367), FAX:0468-44-5903 E-mail:ishihara@cc.nda.ac.jp	

【委員会構成等】

1. General Chair:Prof. Tsuneki Yamasaki (EMT)

General Co-chair: Prof. Myeong,(KAIST)

2. Steering Committee

Prof. Toshikazu Hori (AP)
Prof. Ryuji Koga (EMCJ)

3. Technical Program Committee

Chair: Prof. Toyohiko Ishihara (EMT)
Co-Chair:Prof. Yun (Seokang Univ.)
Members:
Prof. Masahiko Nishimoto (EMT)
Prof. Hiroshi Shirai (EMT)
Mr. Yoshio Inasawa (EMT)
Prof. Kunio Sakakibara (AP)
Dr. Hiroaki Miyashita (AP)
Prof. Hiroshi Inoue (EMCJ)
Prof. Masahito Shoyama (EMCJ)

4. Local Committee

5. Secretary

Prof. Hiroyuki Arai (AP)
Prof. Min (Korea Maritime Univ.)

【主催機関】

電子情報通信学会 通信ソサイエティ アンテナ・伝播研究専門委員会
電子情報通信学会 通信ソサイエティ 環境電磁工学研究専門委員会
電子情報通信学会 エレクトロニクスソサイエティ 電磁界理論研究専門委員会
大韓電子工学会 マイクロ波・アンテナ・伝搬ソサイエティ
韓国電磁波学会(The Korea Electromagnetic Engineering Society)

資料 No. 65-6

「光・電波ワークショップ」について

7 月の電磁界理論研究会は，エレソの他研究会等と合同で恒例の「光・電波ワークショップ」として，下記のように開催いたします.

記

日　　時　平成１８年７月２７日(木)　10:20 － 17:30
　　７月２８日(金)　09:20 － 14:40

会　　場　北見工業大学　情報システム工学科棟２階 Ｅ２３１，Ｅ２３２講義室（２会場パラレル）
(〒090-8507 北見市公園町165番地)

交　　通　女満別空港から：車を利用して40分、連絡バスを利用して55分
北見駅から：車を利用して8分、バス（三輪～小泉線）を利用して10分
※バス利用の場合、「工業大学入口」下車後、徒歩５分
http://www.kitami-it.ac.jp/outline/place/place.htmlをご参照下さい。

共　　催　電子情報通信学会　電磁界理論研究会（委員長　山崎 恒樹），
電子情報通信学会　マイクロ波研究会（委員長　荒木 純道），
電子情報通信学会　光エレクトロニクス研究会（委員長　小柴 正則），
URSI-B 小委員会（委員長　安藤　真）

協　　賛　電子情報通信学会　マイクロ波フォトニックス研究会（委員長　松島 裕一）

議　　題　「光・電波ワークショップ」

投稿件数　電磁界理論研究会：９件
光エレクトロニクス研究会：１０件
マイクロ波研究会：８件
マイクロ波フォトニックス研究会：１２件（含招待講演３件）　　計３９件

［招待講演］ホームユビキタス環境におけるワイヤレス技術の利用　　山崎達也（NICT）
［招待講演］ネットワークロボットとユビキタス社会　　萩田紀博（ＡＴＲ）
［招待講演］　未定　　未　定

★２７日のセッション終了後，懇親会を予定しています.

資料 No. 65-7

第 35 回電磁界理論シンポジウム開催計画

期　日: 平成１８年１０月２６日(木),２７日(金), ２８日(土)
会　場：松の湯 (http://fish.miracle.ne.jp/matunoyu/)
〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉造温泉 1215
TEL：0852-62-0611　FAX： 0852-62-0778
交　通：(http://fish.miracle.ne.jp/matunoyu/a12.htm)

テ　ー　マ:
- ●電磁界理論の基礎
- ●放射，伝搬，散乱・回折の理論と解析
- ●導波理論および導波路解析
- ●他系との結合理論と解析
- ●波動情報の理論と処理
- ●数学的解析理論と応用

など

申込締切日: 平成１８年８月１０日(木)
申 込 先：小見山　彰（大阪電気通信大学)
工学部　光システム工学科
〒572-8530　大阪府寝屋川市初町１８－８
TEL:072-824-1131　FAX: 072-825-4687
E-mail: komiyama@isc.osakac.ac.jp
なるべく電子メールでお申し込みください.

申込み要領:
以下の事項を明記の上，できるだけ電子メールでお申し込みください.
- ・論文タイトル
- ・氏名(著者全員の氏名を書き，発表者には〇印を，
  但し発表者が満 35 才以下の場合は◎印を付けてください.)
- ・所属(著者全員の所属をお書き下さい.大学名または会社名等)
- ・原稿用紙送付先(〒・住所・所属・氏名・TEL・E-mail アドレス)
- ・論文内容梗概(100 字程度)
- ・発表希望セッション(下記から内容に近い順に 1～3 つ選択して下さい)

1. 電磁界の基礎理論
2. 電磁現象
3. 相対論（重力波を含む)
4. 数学的解析理論と応用
5. 数値解法理論，計算電磁気学
6. 量子電磁力学
7. 電磁環境
8. 生体への電磁波応用
9. 波動情報処理
10. 他系との結合理論と解析
11. 非線形問題
12. 放射・伝搬
13. 散乱・回折，レーダ断面積
14. アンテナ理論
15. 周期構造（回折格子を含む)
16. ランダム媒質・粗面
17. キラル媒質，非線形媒質
18. 時間領域解析
19. 高周波漸近解法
20. 逆問題・逆散乱
21. 光・マイクロ波・ミリ波導波路（電子波・X 線導波路含む)
22. その他(ご提案ください)

※ 申込みのメールを受け取りましたら，受取り確認のメールをお送りいたします.
担当者の出張などによりお返事が遅れる場合がありますが，締切りを過ぎても
確認のメールが届かない場合は，お問い合わせください.

※ 満 35 才以下の方は電気学会発表賞の対象者になります.

※ この内容は電磁界理論研究会ホームページにも掲載しております.

以　上

資料 No. 65-8

2006 年電子情報通信学会ソサイエティ大会

シンポジウム

期日：2006 年 9 月 19 日（火）～22 日（金）

会場：金沢大学　角間キャンパス　北地区（金沢市）

題目：大規模電磁界解析への挑戦と事例紹介

Challenge and Some Example of Electromagnetic Field Analysis of Large Scatterer.

要旨：

現在、電磁界解析手法については色々と提案されているが、大規模電磁界解析に対しての各種解法に対してのモデル化、PC パフォーマンス、適用限界、解析原理などはあまり検討されていない。本シンポジウムでは、この問題について、関連の研究者が一同に会し，現状の課題及び挑戦について事例（FDTD アルゴリズム，大型反射鏡アンテナ，自動車の電磁界解析，導波管アレーの HFSS 解析，高周波近似と MOM の融合）を紹介しながら今後の技術展望について多角的な討論を行うことを目的に提案するものである。

○講演登録・原稿の締切：平成 18 年 5 月 15 日（月）～平成 18 年 7 月 12 日（水）

17:00（厳守）

以　上